

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2021年2月3日

事業所名：どんぐりの里

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|---------|---|---|----------------------------|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | ・指定基準以上の指導訓練室を確保。 ・指導訓練室以外に食堂、相談室、屋外遊戯場、静養室を設けている。 | はい…100% いいえ…0% | 継続 |
| | 2 職員の適切な配置 | ・基準配置職員に加え、加配職員を配置。 | はい…100% いいえ…0% | 継続 |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 | ・施設内バリアフリー。 ・館内にエレベーターの設置。 | はい…100% いいえ…0% | 継続 |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | ・毎日清掃の実施。 ・空気清浄器の活用。 | はい…100% いいえ…0% | 継続 |
| 業務改善 | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | ・人事評価制度の活用。 ・毎月2回の定例会議において、指導法等の意見交換を実施。 | / | 人事評価について、個別にフィードバックを行う。 |
| | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | ・第三者評価の受診(3回)。 | | 4回目の受信を検討する。 |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | ・外部講師による研修(法人全体で年3回)。 ・外部研修への参加の促進。 ・内部研修会の実施(事業所で年1回)。 ・研修報告書の作成。 | | 研修計画の作成。 |
| 適切な支援の場 | 1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | ・利用者のサービス等利用計画を基に、個別支援計画を作成。 ・計画期間内にモニタリングの実施や相談支援事業所から情報を得るようにしている。 ・アセスメント表の活用。 | はい…86% いいえ…0% 分からない…14% | ・相談支援事業所や保護者と十分にコミュニケーションを図り、ニーズに合った個別支援計画の作成や細やかな説明を行う。 |
| | 2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | ・個別支援計画において、個別支援の部分と集団の中での支援と目標設定をしている。 ・状況に応じて、家族支援や地域支援の視点も取り入れている。 | | |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|--------------|--|---|--|--------------------------------------|
| 提供 | 3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | ・個別支援計画作成後、保護者への説明。 ・関係機関との連携、支援者会議への積極的な参加。 | | |
| 適切な支援の提供(続き) | 4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | ・支援計画会議の実施とケース検討会議での見直しの実施。 | はい…86% いいえ…0% 分からない…14% ・プログラムが事前に分かるので助かる。 | 継続 |
| | 5 チーム全体での活動プログラムの立案 | ・支援計画会議の実施とケース検討会議での見直しの実施。 | | 継続 |
| | 6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | ・休日は日替わりでプログラムを実施。 ・公共施設を使い社会性の習得。 ・児童発達支援の保護者との交流プログラムの実施。 | | ・引き続き、個性を生かしたプログラムの設定や保護者へのアナウンスを行う。 |
| | 7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | ・週ごとにプログラムに変えている。 ・季節行事を取り入れている(花見、水遊び、クリスマス会等)。 | | ・感染症対策を充分に行い、プログラムを工夫していく。 |
| | 8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | ・毎朝の職員会議で支援内容の確認を実施。 | | 継続 |
| | 9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | ・終了時にプログラムの振り返りを行う。 ・特別な行動があった場合は、記録を取りケース検討会を実施。 | | 継続 |
| | 10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | ・サービス提供記録は、児童発達管理責任者が定期的に確認する。 | | 継続 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------|---|--|--|--------------------|
| 11 | 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | ・モニタリング時に大きな成長や後退が見られた場合は、相談支援事業所を交えた事例検討会を行う。 | | 継続 |
| 関係機関との連携 | 1 | 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画 | ・児童発達責任者の参加や、その他研修を受講した職員が参画。 | 継続 |
| | 2 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | | |
| | 3 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | | |
| | 4 | 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有 | ・適宜支援者会議を開催している。 ・必要に応じて電話連絡で情報共有をしている。 | 継続 |
| | 5 | 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、 | ・必要に応じて引継ぎシートの作成や支援者会議を行っている。 | 継続 |
| | 6 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | ・実施。 | 継続 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----|--|--|--|--|
| 7 | 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・法人による地域交流の児童クラブ(チャレンジクラブ)への活動紹介。 ・地域のサッカークラブと連携し、定期的にプログラムを実施している。 | <ul style="list-style-type: none"> はい…0% いいえ…28% 分からない…72% ・幼稚園に通っているため必要ない。 ・コロナウイルス流行のため、ないのかなと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症の流行前は児童館に行くプログラムも設定していたが、現在は自粛している。 |
| | 8 | 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | <ul style="list-style-type: none"> ・法人主催による地域交流のお祭り(あいむフェスタ)の運営に関わっている。 | |
| 1 | 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | <ul style="list-style-type: none"> ・契約時において、重要事項説明書を使い説明している。 | はい…100% いいえ…0% | 継続 |
| | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | <ul style="list-style-type: none"> ・計画書を示しながら口頭で説明しサインをもらっている。 | はい…100% いいえ…0% | 継続 |
| | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングという名目では実施していない。 ・相談に対して助言や指導を行う場合がある。 | | 保護者に研修等の情報提供を行っていく。 |
| | 4 | 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りと、連絡ノートを活用して 共通理解を図っている。 | はい…100% いいえ…0% |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|---------------|--|-----------------|---|-------------------------------|
| 保護者への説明責・連携支援 | 5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | | はい…86% いいえ…0% どちらともいえない…14% ・日々の報告等で充分行われている。 | ・引継ぎの時間や連絡ノートを活用し、相談対応や助言を行う。 |
| | 6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | | はい…14% いいえ…14% どちらともいえない…72% ・コロナ禍でないのかなと思っている。 | ・今後の状況を見て、開催を検討していく |
| | 7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | | はい…28% いいえ…0% 分からない…72% ・意見箱が設置されていて良い。 | 継続 |
| | 8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | | はい…100% いいえ…0% | 継続 |
| | 9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | | はい…100% いいえ…0% | 継続 |
| | 10 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | | はい…100% いいえ…0% | 研修会の実施。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|---------|--------|---|--|--|--------------------|
| 非常時等の対応 | 1 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | ・緊急時対応マニュアル・感染症対応マニュアル・避難確保計画の策定 | はい…100% いいえ…0% | 機関紙及びホームページにて周知を行う |
| | 2 | 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | ・避難訓練の実施。 | はい…28% いいえ…0% どちらともいえない…72% ・マニュアルがあることは説明を受けたが、訓練しているかは分からない。 | 機関紙及びホームページにて周知を行う |
| | 3 | 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応 | ・虐待対応マニュアルの作成と、年1回セルフチェックの実施と評価を行っている。 | | 継続 |
| | 4 | やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | ・契約書第4条(サービスの内容)の2に身体抑制を行わないと明記している。 | | 継続 |
| | 5 | 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | ・利用児の健康調査票に食物アレルギーの項目を設け、それに応じて対応している。 | | 継続 |
| | 6 | ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | ・職員会議で事例検討を行っている。 | | 継続 |

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2021年2月3日

事業所名：どんぐりの里

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|---------|--|--|---|----------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | <ul style="list-style-type: none"> 指定基準以上の指導訓練室を確保。 指導訓練室以外に食堂、相談室、屋外遊戯場、静養室を設けている。 | はい…91% いいえ…9% ・十分だと思いますが、たまに外で遊びたかったという事があります。 | 継続 |
| | 2 職員の適切な配置 | <ul style="list-style-type: none"> 基準配置職員に加え、加配職員を配置。 | はい…66% いいえ…34% ・活動を自身の目で見ていないので分かりません。 | 必要に応じて職員を確保する。 |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 | <ul style="list-style-type: none"> 施設内バリアフリー。 館内にエレベーターの設置。 | はい…95% いいえ…5% | 継続 |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | <ul style="list-style-type: none"> 毎日清掃の実施。 空気清浄器の活用。 | はい…100% いいえ…0% | 清掃点検表を設置。 |
| 業務改善 | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | <ul style="list-style-type: none"> 人事評価制度の活用。 毎月2回の定例会議において、指導法等の意見交換を実施。 | | 人事評価について、個別にフィードバックを行う。 |
| | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 第三者評価の受診(3回)。 | | 4回目の受信を検討する。 |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | <ul style="list-style-type: none"> 外部講師による研修(法人全体で年3回)。 外部研修への参加の促進。 内部研修会の実施(事業所で年1回)。 研修報告書の作成。 | | 研修計画の作成。 |
| 適切な支援の場 | 1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | <ul style="list-style-type: none"> 利用者のサービス等利用計画を基に、個別支援計画を作成。 計画期間内にモニタリングの実施や相談支援事業所から情報を得るようにしている。 アセスメント表の活用。 | | |
| | 2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | <ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画において、個別支援の部分と集団の中での支援と目標設定をしている。 状況に応じて、家族支援や地域支援の視点も取り入れている。 | はい…91% いいえ…9% | 相談支援事業所との連携を密にして情報の提供を受ける。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|--------------|--|---|--|--------------------------------|
| 提供 | 3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | ・個別支援計画作成後、保護者への説明。 ・関係機関との連携、支援者会議への積極的な参加。 | | |
| 適切な支援の提供(続き) | 4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | ・支援計画会議の実施とケース検討会議での見直しの実施。 | はい…91% いいえ…9% ・いつもとても工夫されたプログラムでアイデアにただただ関心です。 ・週替わりで色々な事をしてくれていますがその週に何日か利用をするとプログラムの内容が被ります。 | 継続 |
| | 5 チーム全体での活動プログラムの立案 | ・支援計画会議の実施とケース検討会議での見直しの実施。 | | アンケートの実施。 |
| | 6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | ・休日は日替わりでプログラムを実施。 ・公共施設を使い社会性の習得。 ・児童発達支援の保護者との交流プログラムの実施。 | | 機関紙やホームページを使い、活動内容の見える化を行っている。 |
| | 7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | ・週ごとにプログラムに変えている。 ・季節行事を取り入れている(花見、水遊び、クリスマス会等)。 | | |
| | 8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | ・毎朝の職員会議で支援内容の確認を実施。 | | |
| | 9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | ・終了時にプログラムの振り返りを行う。 ・特別な行動があった場合は、記録を取りケース検討会を実施。 | | 継続 |
| | 10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | ・サービス提供記録は、児童発達管理責任者が定期的に確認する。 | | 継続 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|----------|---|--|--|--------------------|--|
| 11 | 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | ・モニタリング時に大きな成長や後退が見られた場合は、相談支援事業所を交えた事例検討会を行う。 | | 継続 | |
| 関係機関との連携 | 1 | 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画 | ・児童発達責任者の参加や、その他研修を受講した職員が参画。 | 継続 | |
| | 2 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | | | |
| | 3 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | | | |
| | 4 | 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有 | ・適宜支援者会議を開催している。 ・必要に応じて電話連絡で情報共有をしている。 | | 訪問特別支援や保育所等訪問支援の実施を検討する。(実施するための職員体制の整備) |
| | 5 | 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、 | ・必要に応じて引継ぎシートの作成や支援者会議を行っている。 | | 機関紙及びホームページにて周知を行う |
| | 6 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | ・実施。 | | 機関紙及びホームページにて周知を行う |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----|--|---|--|--|
| 7 | 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・法人による地域交流の児童クラブ(チャレンジクラブ)への活動紹介。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で休止している。 ・地域のサッカークラブと連携し、定期的にプログラムを実施している。 | <p>はい…26% いいえ…61% どちらともいえない…13%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の放デイで障害のない子と活動する必要はないと思っています。 ・小学校以外は全くありません。 ・まだ交流はしたことがありませんが、参加できればいいです。 | 機関紙及びホームページにて周知を行う |
| | 8 | 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、法人主催による地域交流のお祭り(あいむフェスタ)の運営に関わっている。 ・就労支援B型事業所と協力し、保護者や地域住民に生産物の販売を行っている。 | |
| 1 | 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | ・契約時において、重要事項説明書を使い説明している。 | はい…92% いいえ…8% | 問い合わせ等があれば丁寧に対応していく。 |
| | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | ・計画書を示しながら口頭で説明しサインをもらっている。 | はい…92% いいえ…8% | 問い合わせ等があれば丁寧に対応していく。 |
| | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングという名目では実施していない。 ・相談に対して助言や指導を行う場合がある。 | | 保護者に研修等の情報提供を行っていく。 |
| | 4 | 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | ・聞き取りと、連絡ノートを活用して 共通理解を図っている。 | <p>はい…91% いいえ…8%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路相談などの助言も的確でとても心強いです。 ・いつもその日の状況を細かく教えてくれます。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|---------------|--|--|--|---|
| 保護者への説明責・連携支援 | 5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて行っている。 ・専門機関と連携し、対応を行っている。 | <p>はい…65% いいえ…30% どちらともいえない…5%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者にも寄り添い支えてくれていると思えます。心強いです。私自身も成長できました頑張っています。 ・困ったときや悩んでいる事を聞いてくれるので助かります。 ・半年に一回程度、個人面談にて子どもの様子や行動等について報告をいただくとありがたい。 | 相談記録を活用し保護者の悩みの職員の共通理を図り、支援の一貫性を図るように努めている。 |
| | 6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、2020年2月の開催を最後に行っていない。 | <p>はい…26% いいえ…52% どちらともいえない…22%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懇談会では卒業生の体験談など貴重な話がきけてよかったです。 ・昔からどんぐりを利用し就学前までにしっかり保護者の繋がりががあるので、私は大丈夫です。 ・特に関わりはありません。 ・まだありません。 | 新型コロナウイルス感染症に関する社会情勢に配慮しながら行っていく。 |
| | 7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・苦情対応マニュアルの作成と苦情ボックスに入った内容と対応について玄関に掲示している。 | <p>はい…82% いいえ…18%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだありません。もし、苦情があったら隠さず教えてほしいです。 | 継続 |
| | 8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・視覚的なアプローチを行っている ・連絡ノートを活用し、必要に応じては口頭で連絡を行っている。 | <p>はい…86% いいえ…14%</p> | 継続 |
| | 9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の機関紙『ころころ通信』にて情報提供を行っている。 | <p>はい…82% いいえ…18%</p> | 継続 |
| | 10 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護規定を玄関に掲示。 ・職員に誓約書への捺印を実施している。 | <p>はい…86% いいえ…14%</p> | 研修会の実施。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|---------|---|--|---|--------------------|
| 非常時等の対応 | 1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | ・緊急時対応マニュアル・感染症対応マニュアル・避難確保計画の策定 | はい…70% いいえ…26% どちらともいえない…4% ・特に聞いてもいないので分からない | 機関紙及びホームページにて周知を行う |
| | 2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | ・避難訓練の実施。 | はい…48% いいえ…43% どちらともいえない…9% ・訓練を行っているのか知らない | 機関紙及びホームページにて周知を行う |
| | 3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応 | ・虐待対応マニュアルの作成と、年1回セルフチェックの実施と評価を行っている。 | | 継続 |
| | 4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | ・契約書第4条(サービスの内容)の2に身体抑制を行わないと明記している。 | | 継続 |
| | 5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | ・利用児の健康調査票に食物アレルギーの項目を設け、それに応じて対応している。 | | 継続 |
| | 6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | ・職員会議で事例検討を行っている。 | | 継続 |